

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



どっちの言葉を使っているかな

学校では色々な仲間と一緒に生活しています。同じクラスで生活していても、すべての人が気心の知れた人ばかりではないのです。

ちょっとした言葉の配慮で、仲間割れを防いだり、気持ちよく協力してもらえたり、励ましたりできます。「なんにもしてくれないのだから」と愚痴を言っているのではなく「一緒にしよう」「～を手伝って」と声をかけていきましよう。一度や二度の声かけで、動いてくれない人も、気軽にかけられる声にはいつか応えてくれるものです。

仲間を励まし支える言葉は、つながりを持つとうとする言葉です。仲間を認める言葉です。そんな言葉が飛び交う家庭・学校、クラスなら、きつと笑顔があふれています。逆に、つながりを切ろうとする言葉、あざ笑いの言葉、認めようとしないう言葉は、人間関係を壊し仲間を傷つけていきます。

できるならば仲間を励まし、勇気づける言葉が子どもたちの口か

ら発せられる環境を作りたいものです。

- ・何かすることない
- ・手伝おうか
- ・これ、どうしようか
- ・〇〇してくれてありがとう
- ・これ手伝ってくれない
- ・〇〇してくれたからうまくいった
- ・〇〇さんがいたからうまくいった
- ・頼りにしているよ

- ・たいがいなあ
- ・何で私がせにやいけんの
- ・そんなこといい加減にしとけやいい
- ・よけいなことをするな
- ・じゃまだからあっちへ行け
- ・ろくなことせんな
- ・いてもいなくても一緒だ
- ・当てにならないのだから

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
上齋原中学校 内藤 健

のびのびひろば

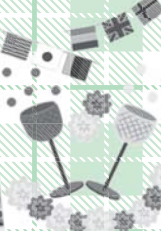
上齋原大運動会

(上齋原幼稚園)

おにいさん
おねえさんと
いっしょに
がんばった

9月の秋晴れの日の上齋原地区大運動会が開催されました。

幼稚園児も小学生や中学生と一緒に出場しました。バルーンを使った親子ダンスをしたり小学生と一緒に玉入れや中学生と一緒にフォークダンスをしたりしました。応援合戦にも出場し、上齋原学園の一員として頑張りました。



今年も優勝 オー!



一緒に踊ると
たのしいね!

